

令和2年第3回可児市農業委員会総会議事録

開催日時	令和2年3月3日（火）午後1時30分から3時10分
開催場所	可児市役所 4階 第1会議室
農業委員	菱川 幸夫、大澤 正幸、可児 勉、井藤 平榮、勝野 英俊、日比野泰成、 二宮 章二、鈴木 啓之、奥村 武司、續木 明彦、兼松 君子、高木 伸敏、 渡邊 千春、山田 照男
農地利用最適化推進委員	浅野 忠、三宅 祥雅、奥村 久光、長谷川謙司、溝口 茂、鈴木 好則、 可児すみ子、栗本 京治、溝口 知春
欠席委員	
事務局	事務局長 渡辺 達也、課長 鈴木 広行、係長 加藤 哲利、主任主査 金沢 貴
議案	<p>第9号 農地法第3条第1項の規定による農地の権利の設定及び所有権移転申請に対する許可について</p> <p>第10号 農地法第4条第1項の規定による農地転用許可申請に対する意見について</p> <p>第11号 農地法第5条第1項の規定による農地の権利設定及び移転を伴う農地転用許可申請に対する意見について</p> <p>第12号 土地現況確認申請書（非農地）の承認について</p> <p>第13号 農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定による農用地利用集積計画に対する決定について</p> <p>第14号 農地中間管理事業の推進に関する法律第19条第3項による農地利用配分計画案に対する意見について</p>
議長 （菱川会長）	<p>令和2年第3回可児市農業委員会総会を招集しましたところ、委員各位には公私共に大変ご多忙の中ご参集賜りまして、誠にありがとうございます。</p> <p>本日の農業委員は、出席は14名であり、定足数に達しております。</p> <p>また、農地利用最適化推進委員の出席は9名です。</p> <p>これより、令和2年第3回可児市農業委員会総会を開会します。</p> <p>それでは、議事に入ります。</p> <p>なお、本日の日程は、お手元に配付しました議案のとおりとなっております。</p> <p>日程第1、議事録署名委員の指名を行います。</p> <p>本日の署名委員は議長において、4番井藤平榮委員、5番勝野英俊委員の両名を指名します。</p>
議長	<p>日程第2、議案第9号「農地法第3条第1項の規定による農地の権利の設定及び所有権移転申請に対する許可について」を議題とします。</p> <p>それでは、事務局の説明をお願いします。</p>
事務局	日程第2、議案第9号、農地法第3条第1項の規定による農地の権利の設定及び所有権

移転申請に対する許可について説明します。

申請の内訳は、売買による所有権移転が3件です。

受付番号1番は、虹ヶ丘の方外3名と坂戸の方が売買による所有権移転で許可を求めるものです。

土地の概要は、矢戸字山本外4筆、地目は田、面積は合計790㎡の農振白地と判断されます。

譲受人は、申請地を取得して経営規模の拡大を計画するとしています。譲受人の耕作面積は、受付番号3番と合わせて3,445㎡となります。

受付番号2番は、塩河の方と塩河の方が売買による所有権移転で許可を求めるものです。

土地の概要は、塩河字大洞外1筆、地目は田、面積は合計2,868㎡の農振農用地と判断されます。

譲受人は、申請地を取得して経営規模の拡大を計画するとしています。譲受人の耕作面積は譲受後10,371.36㎡となります。

受付番号3番は、京都市の方と坂戸の方が売買による所有権移転で許可を求めるものです。

土地の概要は、土田字戸走外1筆、地目は畑、面積は合計224㎡の農振農用地及び農振地域外と判断されます。

譲受人は、申請地を取得して経営規模の拡大を計画するとしています。譲受人の耕作面積は先程の受付番号1番と合わせて3,445㎡となります。

これらの案件は、農地法第3条第2項各号に該当せず、許可要件をすべて満たしているため、権利の移動は妥当と考えます。

議長 只今、事務局から説明がありましたが、地元委員からの発言をお願いします。

受付番号1番、矢戸をお願いします。

二宮委員 7番二宮が現地確認結果について説明します。

該当の土地は、春里地区センターから南の方に約300m、南宮神社250mの位置にあります。ちょうど、1級河川の矢戸川と先月審議された工場の駐車場に囲まれた細長い場所になっています。十数年来耕作されていないと思っています。先程説明がありましたように4名の方が土地所有で市内の方2名と県外の方2名が所有者となっています。今回ちょうど春里地内の方が所有されることになりますので、今より管理がされるのではないかと思いますので、ご審議をお願いします。

議長 受付番号2番、塩河をお願いします。

長谷川委員 推進委員4番の長谷川が現地確認結果を報告します。

春里苑の西へ約400mの位置になります。譲受人は田や畑をきれいに耕作していて、引き継いでも今後きれいに耕作していただけると思います。問題はないかと思しますので、審議の程をお願いします。

議長 受付番号3番、土田をお願いします。

三宅委員 推進委員2番三宅が報告します。現地確認の結果、特別な問題点はないと確認してきました。よろしくご審議ください。

議	長	<p>只今、地元委員から発言がありました。</p> <p>何かご質問、意見等はございませんか。</p> <p>【意見なし】</p>
議	長	<p>ご意見もないようですので、お諮りします。</p> <p>日程第2、議案第9号「農地法第3条第1項の規定による農地の権利の設定及び所有権移転申請に対する許可について」は当委員会として許可することにご異議ございませんか。</p> <p>【異議なしの声多数あり】</p>
議	長	<p>異議ないものと認め、当委員会としてこれを許可することに決しました。</p>
議	長	<p>日程第3、議案第10号「農地法第4条第1項の規定による農地転用許可申請に対する意見について」を議題とします。</p> <p>それでは、事務局の説明をお願いします。</p>
事 務 局		<p>日程第3、議案第10号、農地法第4条第1項の規定による農地転用許可申請に対する意見について説明します。</p> <p>今回の申請は3件です。</p> <p>受付番号1番は、土田の方が農地転用の許可を求めるものです。</p> <p>土地の概要は、土田字井ノ鼻、地目は畑、面積は224㎡で、農振地域外の3種農地と判断されます。</p> <p>転用目的は、隣接する宅地と一体利用して、一般個人住宅の庭と駐車場を整備することです。</p> <p>雨水排水は道路側溝へ排水、汚水の排水はありません。</p> <p>無断転用に対する始末書が申請書に添付されています。これは平成22年10月頃より農地法の許可を得ることなく農地を転用し、駐車場と庭として転用していたことに対するものです。</p> <p>受付番号2番は、下恵土の方が農地転用の許可を求めるものです。</p> <p>土地の概要は、下恵土字城畑外1筆、地目は畑、面積は合計604㎡で、農振地域外の3種農地と判断されます。</p> <p>転用目的は、一般個人住宅敷地にするとのことことです。</p> <p>周辺農地への被害防除策は、コンクリートブロック等により土砂等の流出を防ぐとのことです。</p> <p>雨水排水は道路側溝へ排水、汚水排水は公共下水道へ排水するとなっています。</p> <p>無断転用に対する始末書が申請書に添付されています。これは昭和43年頃より住宅用敷地として転用していたことに対するものです。</p> <p>受付番号3番は、広見の方が農地転用の許可を求めるものです。</p> <p>土地の概要は、下恵土字広瀬、地目は畑、面積は373㎡で、農振地域外の3種農地と判断されます。</p> <p>転用目的は、ボクシングジムを建築することです。</p> <p>雨水排水は可児土地改良区排水路へ排水、汚水排水は公共下水道へ排水するとなつて</p>

		います。
		無断転用に対する始末書が申請書に添付されています。これは農機具庫倉庫敷地として転用していたことに対するものです。
		以上の各案件は、周辺への影響には十分注意を払い施工するとともに、万一の場合は責任をもって対処し、一切の迷惑をかけないとなっています。
議 長		只今、事務局から説明がありましたが、地元委員からの発言をお願いします。
		受付番号1番から4番までを土田、下恵土の順でお願いします。
三 宅 委 員		三宅が報告します。受付番号1番は、特別報告するようなことはありません。よろしくご審議をお願いします。
可児（勉）委員		3番可児が報告します。
		受付番号2番は、消防署の西100m位でお宮の参道に面したところになります。
		既に建物が建っていきまして、これが事務局から説明ありました昭和43年頃から車庫と物置敷地として使用していたことについて始末書が提出されています。今度、一般用個人住宅を造るということで申請が出されていますが、問題ないと思われてまいりましたので、よろしくお願いします。
		受付番号3番は、これも消防署から西の方に100m位離れた場所で、旧248号線沿いになります。ここは住宅と大型店舗に挟まれた交通量の多いところで、農地といっても大変荒れたような状況でしたので、今回のこのようにボクシングジムを建築すると申請が出されています。これも始末書が提出されていますので、やむを得ないと思われてまいりましたので、よろしくお願いします。
議 長		只今、地元委員から発言のありました件につきまして、何かご質問、ご意見等はございませんか。
		【意見なし】
議 長		ご意見もないようですので、お諮りします。
		日程第3、議案第10号「農地法第4条第1項の規定による農地の権利の設定及び移転を伴う農地転用許可申請に対する意見について」は、当委員会としてこれを許可相当として市に進達することにご異議ございませんか。
		【異議なしの声多数あり】
議 長		異議ないものと認め、これを許可相当として、市に進達することに決しました。
議 長		日程第4、議案第11号「農地法第5条第1項の規定による農地の権利の設定及び所有権移転を伴う農地転用許可申請に対する意見について」を議題とします。
		事務局の説明をお願いします。
事 務 局		日程第4、議案第11号、農地法第5条第1項の規定による農地の権利の設定及び所有権移転を伴う農地転用許可申請の意見について説明します。
		申請の内訳は、売買による所有権移転6件、贈与による所有権移転1件、賃借権の設定1件の合計8件です。
		受付番号1番の案件は、瀬田の方と多治見市の法人との売買による所有権移転で、転用許可を求めるものです。

土地の概要は、瀬田字神崎、地目は田、面積は 891 m²で、農振白地の 3 種農地と判断されます。

転用目的は、3 棟の分譲住宅を建築するとのことです。

雨水排水は道路側溝へ排水、汚水排水は公共下水道へ排水となっています。

なお、開発案件としましては、まちづくり条例の対象となりまして令和 2 年 2 月 26 日付けで申請済みとなっています。また令和 2 年 1 月 22 日農振除外となっています。

受付番号 2 番の案件は、可児郡御嵩町の方と美濃加茂市の法人との売買による所有権移転で、転用許可を求めるものです。

土地の概要は、平貝戸字前田外 1 筆、地目は田、面積は合計 1,935 m²で、農振白地の 3 種農地と判断されます。

転用目的は、8 棟の分譲住宅を建築するとのことです。

周辺農地への被害防除策は、コンクリートブロックを敷設することで土砂等の流出を防ぐとのことです。

雨水排水は土地改良区排水路へ排水、汚水排水は公共下水道へ排水となっています。

なお、まちづくり条例に基づく開発基準協議及び都市計画法に基づく開発許可申請が必要になりますが、現在未申請です。また令和 2 年 1 月 22 日農振除外となっています。

受付番号 3 番の案件は、土田の方と東京都新宿区の法人の売買による所有権移転で、転用許可を求めるものです。

土地の概要は、土田字宿外 3 筆、地目は畑、面積は合計 194.14 m²で農振地域外の 3 種農地と判断されます。

転用目的は、4 棟の分譲住宅を建築するとのことです。

雨水排水は道路側溝へ、汚水排水は公共下水道へ排水となっています。

無断転用に対する始末書が申請書に添付されています。これは平成 17 年頃より申請地を埋め立てて駐車場として転用していたことに対するものです。

受付番号 4 番の案件は、土田の方外 7 名と土田の協同組合の方との賃貸借の設定で、転用許可を求めるものです。

土地の概要は、土田字西小池外 5 筆、地目は田と畑、面積は合計 6,297 m²で農振白地の 2 種農地と判断されます。

転用目的は、隣接する雑種地を一体利用して、花き販売業駐車場を整備するとのことです。

雨水排水は自然浸透、汚水排水はありません。

なお、始末書が申請書に添付されています。これは、平成 20 年頃に埋め立てをし、駐車場敷地として転用したことに対するものです。

なお、令和 2 年 1 月 22 日農振除外となっています。

受付番号 5 番の案件は、下恵土の方と下恵土の方との贈与による所有権移転で許可を求めるものです。

土地の概要は、下恵土字野林、地目は田、面積は 156 m²で農振地域外の 3 種農用地と判断されます。

転用目的は、隣接する宅地を一体利用して一般個人住宅を建築するとのことです。

周辺農地への被害防除策は、コンクリートブロック及び石積みにより土砂等の流出を防ぐとのことです。

雨水排水は自然浸透、汚水排水は公共下水道へ排水するとなっています。

なお、始末書が申請書に添付されています。これは、昭和 63 年 7 月頃より許可を受けずに宅地として転用したことに對するものです。

受付番号 6 番の案件は、美濃加茂市の方と下恵土の法人との売買による所有権移転で、転用許可を求めるものです。

土地の概要は、今渡字上ノ畑、地目は畑、面積は 1,084 m²のうち 866 m²で農振地域外の 3 種農地と判断されます。

転用目的は、4 区画に宅地分譲するとのことです。

周辺農地への被害防除策は、コンクリートブロックを敷設して土砂等の流出を防ぐとのことです。

雨水排水は道路側溝へ排水、汚水排水は公共下水道へ排水するとしています。

受付番号 7 番の案件は、今渡の方と美濃加茂市の法人との売買による所有権移転で、転用許可を求めるものです。

土地の概要は、今渡字鳴子、地目は田、面積は 321 m²で農振地域外の 3 種農地と判断されます。

転用目的は、1 区画に宅地分譲するとのことです。

周辺農地への被害防除策は、コンクリートブロック積みを敷設することで土砂等の流出を防ぐとのことです。

雨水排水は土地改良区排水路へ排水、汚水排水は公共下水道へ排水するとしています。

受付番号 8 番の案件は、徳野南の方と川合の方との売買による所有権移転で、転用許可を求めるものです。

土地の概要は、川合字大廻間、地目は田、面積は 753 m²で農振白地の 3 種農地と判断されます。

転用目的は、一般個人住宅を建築し、貸駐車場を整備するとのことです。

周辺農地への被害防除策は、コンクリートブロック積みを敷設することで土砂等の流出を防ぐとのことです。

雨水排水は道路側溝へ排水、汚水排水は公共下水道に排水するとしています。

以上の各案件は、周辺への影響には十分注意を払い施工するとともに、万一の場合は責任をもって対処し、一切の迷惑をかけないとなっております。

議長 只今、事務局から説明がありましたが、地元委員からの発言をお願いします。

受付番号 1 番は瀬田、受付番号 2 番は平貝戸、受付番号 3 番と 4 番は土田、受付番号 5 番は下恵土、受付番号 6 番と 7 番は今渡、受付番号 8 番は川合、順次お願いします。

渡邊委員 受付番号 1 番について、13 番渡邊が報告します。

場所は広見東地区センターから 160m 東側にあります。周辺は宅地化された一角にあります。東側は造成中の宅地で、北側は水路、西側は宅地、南側は道路と水路です。

転用目的は、分譲住宅 3 棟を建築するとのことです。土地所有者は 3 年位前までは耕作

されていましたが、体を壊され後継者はいないようです。耕作はできない状態です。一般基準判定は、雨水排水は道路側溝へ、上下水道は既存の埋設管に接続ということです。農業用水には影響ないということで問題ないと思いますので、ご審議をお願いします。

栗 本 委 員

受付番号2番について、推進委員8番栗本が現地確認の報告をします。

一般基準判定は事務局の説明どおりですが、この中で隣地所有者へ説明だけでなく同意書までももらってしまして問題ないと思います。皆さんの慎重な審議をお願いします。

三 宅 委 員

受付番号3番について、推進員2番三宅が申し上げます。

つぶさに現地を見てきましたが、特に報告を申し上げる問題点はありませんでした。よろしくご審議ください。

受付番号4番についても、つぶさに見てきましたが、格別の問題はないと思いますのでよろしくご審議ください。

可児（勉）委員

受付番号5番について、3番委員可児が報告します。

先程、事務局から説明がありましたように始末書が出ています。ここは、兄弟で所有していた土地を交換されるもので、譲受者は道へ接道していないため、このように申請が出てきたもので、問題ないように見受けてまいりました。右奥には田がまだ残っていますが、本人の農地ですので進入路とか排水とか問題ないと思受けてまいりました。よろしくをお願いします。

浅 野 委 員

受付番号6番と7番について、推進委員1番浅野が現地確認の報告をします。

受付番号6番の場所は、主要地方道県道土岐可児線今渡神明交差点より南へ300mのところ。名鉄広見線を渡り東へ70m入ったところです。

転用目的は、譲受人が4区画に宅地分譲する形で申請が出ています。面積は1,084㎡のうち866㎡が申請となっています。また前面道路が少し狭いので車の出入が心配な点があります。上水道は前面道路から、下水道は公共下水道からで、問題ないかと思ひます。また隣地土地所有者へは説明済みで、雨水排水は道路側溝へ流します。現地確認の結果問題ないと思ひますが、皆さんの意見をよろしくをお願いします。

受付番号7番について現地確認の報告をします。

場所は、可児市道広見土田線今渡鳴子近隣公園信号より南へ500m、愛知用水西側に隣接したところです。

転用目的は、譲受人が1区画に宅地分譲する形で申請が出ています。上水道は前面道路から、下水道は公共下水道へ、問題はないと思ひます。土地改良区の同意があります。雨水排水は土地改良区排水路へ流します。現地確認の結果、問題ないと思ひますが皆さんの意見をよろしくをお願いします。

大 澤 委 員

2番の大澤が、受付番号8番について現地確認の説明をします。

かわい幼稚園の近くです。ここは3年位前までサトイモを作るということで貸してみえたんですが、サトイモは何年も同じ場所ではできないため、て3年前に返却されました。土地所有者は、返却されてから作付けをされていなくて荒地の状態でした。そうした中で川合の方が買って家を造って、自分の駐車場として一部使われるということで転用が出た訳です。荒れているよりは良いのでないかということで、特に問題ないと思ひます。

議 長	只今地元委員からの受付番号1番から8番まで報告がありましたが、何か質問等、聞いておきたいことはございませんか。
	【日比野委員挙手】
日 比 野 委 員	事務局にお尋ねします。受付番号4番ですが、前回農振除外にかかった件でしょうか。
事 務 局	11月ではなく5月にかかったもので、この1月22日に農振除外となったものです。
	【大澤委員挙手】
大 澤 委 員	事務局に参考までにお聞きします。まず受付番号2番ですが、この土地は農振農用地なんでしょうか。
事 務 局	ここは、令和2年1月22日に農振除外がされ、農振白地となっています。
大 澤 委 員	ということは、もともとは農振農用地であったということですね。
事 務 局	はいそうです。
大 澤 委 員	それが一つと、位置図を見ると端にある訳でもない、接道する道路も広くない、こういうところに対して、この方にして許可が下りたのかなと不思議なんです、このように点々と除外が許可されると今後隣でも隣でもという形で、一番広い道に接道している一番端の土地からいくのは分かるんですが、こういう真ん中でも許可が下りた事情はなんなんですか。
事 務 局	農振除外が下りた理由ということですか。
大 澤 委 員	農振除外が下りたので、農転が出てきたと思うのですが。農振除外のため、この申請地を宅造するにあたり、この土地の前の道路を広げて幅員を6m道路にすると下水道等を引いてくる等、何か条件が満たされないと簡単には下りないと思うのですが、何かその理由があったのですか。
事 務 局	農振除外につきまして、除外するしないについての要件は可児市の方針がありまして、それにあてはまる場合は、こういった状況でも除外を認めているということで、農振協議会の中で事務局の産業振興課が説明の中で方針にこれは合致していますとか、してませんとかという話をしますので、この案件につきましてはこの方針の中にあてはまっていたということです。
大 澤 委 員	もう少しお尋ねしますが、新家を造るとか身内の方とか農家住宅を造るとかは、除外の対象になりますよと前に聞いたんですが、これ正直いって分譲住宅なんですよ、その分譲するということも許可の対象になるんですか。
事 務 局	はいそうです。
大 澤 委 員	ということは、横の方もその横の方も今後次々と私も宅造業者に売りますといたら、みんな許可が出るということなんですよ。
事 務 局	基本的にここの地域は、農振農用地でもB地域で、農振農用地にはA地域B地域というのがありまして、B地域というのは開発なり都市化については認めていく方向の地域というところですので認められると思います。
大 澤 委 員	はい分かりました。ということは、今の説明ですとこの横の方も北の方も自分で出されれば、分譲にすると思ったら皆結果的には許可が出る地域だと理解してよい訳ですよ。
事 務 局	それは産業振興課が最終的に事情を聞きながら判断していくのですが、考え方はそういうことで結構だと思います。

大澤委員	<p>そういうことですよ。この方だけ許して隣の方は許さないとはいかない。おのずと宅造化されてもやむを得ないという解釈をしてもよろしいのですか。</p>
事務局	<p>そうです。B地域であれば。</p>
大澤委員	<p>はい、ありがとうございました。</p>
議長	<p>その他、ございませんか。</p> <p>私から2つ事務局に質問したいと思います。</p> <p>1つは、受付番号4番の花き販売所の件ですが、少し申請が出されるのが遅いのではないかと。これはずっと以前から駐車場兼花木が植えられていた場所だったと私は記憶をしていますが、花き販売所という業種であれば、ここでお金を儲けるということであればもう少し先手先手を打って5条なり農業委員会に対して提出しなければいけない業種だと思う訳なんですけれども、まだ申請すべき土地が残っているのかどうか、敷地が大きなところで農転にかけていないところがあるのかないのか。</p> <p>もう1点は、今地元委員からの説明で接続する道が非常に狭いということを言われましたが、私も現地確認した訳ですが、多分この道は火災があった時に消防自動車が入れる入れない瀬戸際でないかと見てきた訳ですが、果たして申請された場所は片側を道路中心線から2mセットバックする訳でしょうが、それによって道幅が広がる部分は申請地だけで道路全部でないため、全体的には塀があつたり家があつたりして非常に狭いと見てきた訳なんですけれども、この申請地は866㎡なので開発基準協議の対象にならない。こういう場所、消防自動車が入れないところの農地転用を、果たして農業委員会が許可して良いものかをお尋ねします。</p>
事務局	<p>受付番号4番については、申請が遅いということとまだ未申請があるかということですが、未申請の部分はあります。申請者から相談があった時に順次していくと話がありました。未申請の部分についても対応するように指導をします。受付番号6番については、建築指導課から意見が付いていまして、申請地の南側の道路は建築基準法の第42条の2項の幅員が4m未満の道路で、現地の道路の中心にピンが打ってありまして、そこから2mの位置を道路とみなすとなっています。建築物や塀が造れないという意見が付せられていますので、その部分だけということになります。</p>
議長	<p>悩むところです。</p> <p>その他、何かございませんか。</p> <p>【意見なし】</p>
議長	<p>ご意見もないようですので、お諮りします。</p> <p>日程第4、議案第11号「農地法第5条第1項の規定による農地の権利の設定及び移転を伴う農地転用許可申請に対する意見について」は、これを許可相当として市に進達することにご異議ございませんか。</p> <p>【異議なしの声多数あり】</p>
議長	<p>異議ないものと認め、当委員会としてこれを許可相当として、市に進達することに決しました。</p>
議長	<p>日程第5、議案第12号「土地現況確認申請書（非農地）の承認について」を議題とい</p>

	たします。
	事務局の説明をお願いいたします。
事務局	日程第5、議案第12号、土地現況確認申請書（非農地）について、内容を説明させていただきます。今回申請は1件です。
	受付番号1の案件は、土田の方が所有する畑です。
	土地の概要は、土田字大脇外1筆、地目は畑と田、面積は合計で86.20㎡です。
	この農地は、昭和35年頃まで耕作されていましたが、昭和40年頃から山林原野化し現在に至るとのことです。
	なお、この2筆のうち1筆は農振農用地として残っていますので除外申請をするように指導をしました。
議長	只今、事務局からの説明がありましたが、地元委員からの発言をお願いいたします。
三宅委員	受付番号1番、土田お願いします。
	受付番号1番について推進委員の三宅が申し上げます。
	現地をつぶさに見てまいりました。格別の問題はないと思いますのでよろしくお願いします。
議長	今、地元の委員から説明がありましたが、何かご意見ございませんか。
	【日比野委員挙手】
日比野委員	事務局の説明では農振農用地であるという話がありましたが、そうなんですか。
事務局	先程お話ししましたとおりで、1筆は農振農用地として登録されています。
日比野委員	非農地証明をするということは、農地でなくなるということですが、農振農用地はそのままのところを農地でないと認めて良いのですか。
事務局	非農地証明につきましては、現在の状況として農地性があるのかどうなのかを判断するもので、農振除外とは別の話になります。先程説明しましたが、申請があった時点で農振除外申請をするように指導していますので、5月に申請が出てくる予定になっています。
日比野委員	農振除外の申請について、後や先は関係ないということですか。
事務局	現地在農用地とか白地とかいろいろあると思いますが、非農地ということで現況として山林原野化されていれば、非農地であるという申請があれば、それに基づいて現地確認をしてということなんですが、これにつきまして日比野委員が言われますように、農用地ということが一つ引っ掛かってくると思います。一応国からの通知がありまして、農用地の中でも非農地判断はあり得るということになっています。当然、申請者側には現状農用地ということで農振除外の申請をあらためて指導をしているところですので、必要に応じて出てくると考えています。現況での判断というところでは、後や先ということは特に必要ではないと認識しています。
日比野委員	そうすると、ここは非農地であるよという証明は出しますよということですが、地主としては実際に法務局へ申請して農地以外の地目に変更することは可能なんですか。
事務局	この非農地証明によって可能となります。
日比野委員	農地転用等しなくても地目変更ができてしまうのですか。そうしますと、農振農用地の除外ができなくても地目変更ができてしまいますよね。

事 務 局	<p>農振農用地の考え方と非農地の証明とは別ものと考えています。現状として非農地であると証明できれば、この証明によって登記上は地目変更ができます。</p> <p>今後、ここで何かしようかという話があった場合でも他法令がありますので、当然農振農用地であれば農振法に引っ掛かってきますので、それはそれでクリアする手続きは必要に応じて申請者側で対応して行かないと地目は変わっても次への事業はできないと思います。</p>
日 比 野 委 員	<p>地目が山林とかになった場合に、後から地目を変えて宅地にすることは可能でないのですか。</p>
事 務 局	<p>それは可能になります。</p>
日 比 野 委 員	<p>それはおかしくないですか。農振法の主旨にも合わないのではないですか。</p> <p>順番的なものはどうなんですか。非農地証明申請が出てきたら証明しなければならない、そうではなく農振除外が先でないのですか。</p>
事 務 局	<p>先程言いました現況が山林化であれば、非農地証明となる現況確認の申請が出てくれば、現況確認を行い証明することになりますが、特に順序が定まっているとかこの順番でないとダメとかいうものでないと判断しています。現状で山林化されていれば、地目を山林とされることは支障ないです。それがたまたま農用地であれば、そこが農用地ということで今後必要に応じて農振除外を5月にされるということで、特別に農用地の除外を先にしないと非農地なり地目変更できないということではないと考えています。</p>
日 比 野 委 員	<p>例を申し上げますが、農振農用地である農地が耕作放棄地となり木が生えてしまって数十年経った場合に、これが農地でないからと非農地証明である現況確認申請が出てきた場合に、その土地がある程度まとまった面積であってもということもあり得ますよね、こういう場合に対処できるのですか。それが2千㎡、3千㎡の土地であれば、ちゃんと手続きを順番にやってくださいねという話になるのではないのですか。</p>
事 務 局	<p>いろいろなケースがあると思うのですが、例えば今の話ですと、農振農用地で周りがしつかり農地として耕作してみえて、たまたま申請地のみが山林化しているということで非農地の申請をされた場合に、そうなる前になんとか管理をしていただきたいと指導することになるかと思いますし、併せてその農地が水路とか排水とかが整備されていれば、非農地として判断できるかどうか。申請された全ての農地を非農地として判断するのではなく、周りの状況とか山林原野化の状況とか、農地として復元ができるか否か等を見て、判断することになると思います。</p>
日 比 野 委 員	<p>この土地が農振農用地に編入されていたことが間違いであったというような処理はできないのですか。</p>
事 務 局	<p>ここの開発にあたって、この一帯を大きく農振除外した時に、たまたまこの筆だけが申請がなかったということで残ってしまったと思いますけれども、ただ、今の農振除外のやり方としましては申請で対応しているということがありますので、申請に基づいてやっていくと思います。ただやり方としましては、こういった農振農用地の中でもその除外の、たまたま除外の端っこで残ってしまうようなところであれば、それはそれで5年とか10年、申請でなく市の農振農用地の見直しの中で、こういったところを市側が積極的に農振を除外していくところかなと思っています。特に農振農用地ですので今後守るべき</p>

農地というところでの判断を考えると、行政側からも外せるところは考えて外していくやり方もあるかと思います。繰り返しますが、現状は申請でやっていますので、ここについても申請でやることになるかと思っています。

日比野委員 農振農用地の中で耕作放棄地となった場合に、どう対処していくのかという意味から心配して言っているのですが、今回の申請地は昭和35年頃まで耕作していたということですが、それ以降は耕作していない。この辺りが圃場整備されたのが比較的最近ですね、スーパー銭湯ができる少し前であり、当時でも既に農地でないにもかかわらずそれが農振農用地に入れられてしまったというのは手続き上の話もあるとは思いますが、申請ということではなくてこういうケースについては行政の方で変えてしまうよというふうにやっておけば、先程の心配しているような問題は起こらないと思うのですが。そこのところどうですか。今回ある程度時間とかまとまらないとそれがやれないとかそういうことなんですか。

事務局 その辺は産業振興課に対し、今の行政側から農振農用地の計画から外すという話については、意見があったということを伝えておきます。

議長 日比野委員の意見について私は正当だと思う訳なんです。やはり、物には順番があると思うのですが、原野になっていたからとか木が生えていたから畑でないよというのはそうなんだろうが、とりあえず農振除外をしてそれから非農地の申請を出していただくということの方が、私はすんなりいく道筋だと思う訳なんです。その辺どうなんだろうか。

そうすると、今、日比野委員が心配していたようにその他の地区で農振除外の山すその農地が荒れてきた場合に、最初非農地証明の承認を受けそれから農振除外の申請をするというのが今回のやり方なんです。本来からいけば農振除外許可を受けてから現状に合わせて対処することが一般的でないかと思うのですが。

【兼松委員挙手】

兼松委員 私も、今話を聞いていて逆かなと思うのですが、除外をしてから非農地の証明をすることが本当かなと思うのですが、でも国からそういう例があるということなんですよ。

事務局 国の通知では、やり方としてあるということで、農振農用地の中での非農地の判断もある旨の通知があります。それで今回審議していただくことになったものです。

兼松委員 それでいいのかなと思うのですが。

【大澤委員挙手】

大澤委員 この件は、4条とか5条で出てきた場合は、たいてい事務局が農振除外をしなさいという形をとると思うのですが、ただ今回の場合は非農地証明、現状のことを証明してくださいという話で出てきたので、どちらが先ではなくて出てこれば受付しなくてはならない。農振除外を先にしてくださいと言うのが確かに筋だと思うのですが、転用申請ではない。ですから現状の中で、法務局も現状の中で地目変更できるのですから、今回の場合、先程心配されたように20年以上荒れていて現況山林になったら農振除外しなくても転用できるかという話になるかと思うのですが、大きなところの農振除外については、周りの人が許すことはないと思うのです。ここの場合は、全く周りに農地がなくて、たまたま忘れたような形で、周りが農振除外され、スーパー銭湯が開発された時には、既に山林になって

		いたのではないかと思います。今回の場合、なかなか納得されない委員もあるかと思うのですが、非農地証明ですので受けてあげて、申請者も今事務局に申し訳ないけれども5月には農振除外の手続きをしますので、先に認めてくださいという形できているので、私は認めてあげてもと、大きなところであればこれは許されないのですが、この場合は良いのではないかと思います。
議	長	<p>それでは、この土地現況確認申請についてこれを承認するしないについて皆さんの意見をお諮りしてから決定したいと思います。それで、本来であれば農業委員と推進委員とでは議決権の有無の違いがありますが、それを承知の上で、今回、数多くの意見を聞くということで挙手をお願いしたいと思います。</p> <p>この非農地証明交付について、今、日比野委員、兼松委員、大澤委員からの意見と、事務局からの説明があり、これは承認をしてあげましょうという意見と、これはやはりもともと順番で農振除外をしてから申請してもらう必要があるという2つの意見でないかと思います。</p> <p>初めに日比野委員からありました、順番通りにまず5月に農振除外の確認がありますので、それをしてから非農地を出した方が良いという方の挙手をお願いします。</p> <p>【挙手した農業委員1人、推進委員0人】</p>
議	長	<p>それでは、今回は農振除外と非農地の順番は逆だったけれども承認をしてあげましょうという方の挙手をお願いします。</p> <p>【挙手した農業委員12人、推進委員9人】</p>
議	長	<p>わかりました。</p> <p>それでは、挙手という方法によって確認したところ、承認することになりました。日程第5、議案第12号「土地現況確認申請書（非農地）の承認について」は、当委員会として承認しますのでよろしくお願いします。</p>
議	長	<p>日程第6、議案第13号「農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定による農用地利用集積計画に対する決定について」を議題といたします。</p> <p>なお、受付番号3番の案件は、9番の奥村武司農業委員が申請者であることから農業委員会法等に関する法律第31条により議事に参与することができませんので奥村武司農業委員の退席を求めます。</p> <p>【奥村武司委員の退席】</p>
議	長	<p>それでは、受付番号3番を議題とします。</p> <p>事務局の説明をお願いします。</p>
事	務	<p>日程第6、議案第13号、農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定による農用地利用集積計画に対する決定について説明します。</p> <p>今回の利用権の設定は、使用貸借権の設定が2件、解除条件付使用貸借の設定1件、賃貸借の設定1件の申請があります。</p> <p>受付番号3番、これは下恵土の方と二野の法人による賃借権の設定です。</p> <p>土地の概要は、二野字森本外2筆、農振農用地で地目は田、面積は合計2,435㎡の新規の設定です。令和7年3月までの5年間、利用集積を図るものです。</p>

議 長	只今、事務局から説明がありました受付番号 3 番につきまして、何かご意見ご質問等ございませんか。
	【意見なし】
議 長	ご意見もないようですので、お諮りをします。 日程第 6、議案第 13 号「農業経営基盤強化促進法第 18 条第 1 項の規定による農用地利用集積計画に対する決定について」受付番号 3 番については、これを承認し市長に報告することにご異議ございませんか。
	【異議なしの声多数あり】
議 長	異議ないものと認め、当委員会としてこれを承認し、市長に報告することに決しました。 それでは、奥村武司委員の着席を認めます。
	【奥村武司委員の着席】
議 長	日程第 6、議案第 13 号「農業経営基盤強化促進法第 18 条第 1 項の規定による農用地利用集積計画に対する決定について」受付番号 1 番、2 番、4 番を議題とします。 事務局の説明をお願いします。
事 務 局	日程第 6、議案第 13 号、農業経営基盤強化促進法第 18 条第 1 項の規定による農用地利用集積計画に対する決定について 1 番から順次説明します。 受付番号 1 番、これは大森の方と岐阜市の法人による農地中間管理機件を取得した使用貸借権の設定です。 土地の概要は、大森字下長サ、農振農用地で、地目は田、面積は 2,692 m ² の新規の設定です。令和 12 年 4 月までの 10 年間、中間管理権を取得し利用集積を図るものです。 受付番号 2 番、これは渚之上の方外 1 名と土田の法人による解除条件付使用貸借権機権の設定です。 土地の概要は、渚之上字上流外 1 筆、農振農用地で地目は田、面積は合計 2,750 m ² の新規の設定です。令和 5 年 3 月までの 3 年間、利用集積を図るものです。 受付番号 4 番、これは塩河の方と坂祝町の方による使用貸借権の設定です。 土地の概要は、塩河字姫口外 3 筆、農振農用地で地目は田、面積は合計 7,759 m ² の新規の設定です。令和 5 年 3 月までの 3 年間、利用集積を図るものです。
議 長	只今事務局から説明がありました件につきまして、何かご意見ご質問等ございませんか。
	【日比野委員挙手】
日 比 野 委 員	貸借期間で、使用貸借権設定と解除条件付使用貸借権設定それと賃貸借権設定の 3 つの言葉がありますが、どのように意味が違いますか。
事 務 局	賃貸借につきましては、名のとおり、貸借するにあたって賃料という金銭のやり取りが発生するものです。解除条件付使用貸借権は、一般法人が農地の権利を取得するための条件として貸借契約条件に解除条件が付されて契約するものです。法人が農地を適正に利用しない場合に契約を解除されます。使用貸借権設定は、農地の貸し借りにあたって無償で賃料という金銭が発生しません。また契約期間が満了となれば解約されます。 解除条件付につきましては、農地所有適格法人は農地の取得ができますが、一般法人は

		農地を取得することはできませんが、借りることはできます。この借りる場合に、解除条件付でないと借りることができないということです。
議	長	その他、何かございませんか。
		【意見なし】
議	長	ご意見もないようですので、お諮りをします。
		日程第6、議案第13号「農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定による農用地利用集積計画に対する決定について」受付番号1番、2番、4番は、これを承認し市長に報告することにご異議ございませんか。
		【異議なしの声多数あり】
議	長	異議ないものと認め、当委員会としてこれを承認し、市長に報告することに決しました。
議	長	日程第7、議案第14号「農地中間管理事業の推進に関する法律第19条第3項による農地利用配分計画案に対する意見について」を議題といたします。
		事務局の説明をお願いします。
事	務	局長
局		日程第7、議案第14号、農地中間管理事業の推進に関する法律第19条第3項による農地利用配分計画案に対する意見について説明します。
		農地中間管理事業の推進に関する法律第19条第3項により、「市長から協議があった農地利用配分計画案に対する当委員会の意見を求めるものです。
		農地利用配分計画案の内容については、議案第13号において、農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定による農用地利用集積計画に対する決定され、権利設定された農地のうち受付番号1番が対象となる農地となっています。
		内容を説明しますと、二野にある法人に対し、使用貸借権を設定し利用配分する計画案となっています。
		土地の概要は、大森字下長サ、農振農用地で、地目は田、面積は2,692㎡です。
		新規設定1件で令和2年5月1日から令和12年4月30日までの」10年間利用集積を図るものです。
議	長	それでは、只今事務局から説明ありました件につきまして何かご意見、ご質問等ございませんか。
		【意見なし】
議	長	ご意見もないようですので、お諮りをします。
		日程第7、議案第14号「農地中間管理事業の推進に関する法律第19条第3項による農地利用配分計画案に対する意見について」の意見はなしとして市長宛に報告することにご異議ありませんか。
		【異議なし多数あり】
議	長	異議ないものと認め、よって本案件は当委員会として意見なしと、市長宛に報告することに決しました。
議	長	以上を持ちまして、本日の総会に付議された審議は全て終了しました。

議	長	<p>続きまして、農地法関連の報告事項及び連絡事項について事務局から説明をお願いします。</p>
事	務	<p>それでは、報告事項について事務局から説明します。</p>
局		<p>農地法第3条の3第1項の規定による届出書の受理について説明します。</p>
		<p>2月中に届出のあった2月受理分について報告します。</p>
		<p>名古屋市天白区の方外5名から届出があり、相続に伴う届出6件です。</p>
		<p>田は14筆、面積は6,783㎡、畑が5筆、面積は1,100.29㎡、合計19筆7,883.29㎡となっております。</p>
		<p>次に、農地の適正管理についてです。</p>
		<p>農地を耕作していないことなどから、近隣の耕作者・住民等から農業委員会事務局に苦情が寄せられている農地について、農地所有者に対して適正に管理するよう書面にて指導を行った農地についてはご覧の資料のとおりです。</p>
		<p>続きまして、違反転用について報告します。</p>
		<p>これは、工事関連の資材置場として使用されていたものです。</p>
		<p>現地確認をしたところ、東海環状自動車道関連の工事で地主が業者に貸していたことが判明しました。このため元の畑に戻すよう指導をしているところです。</p>
		<p>続きまして、農業委員、農地利用最適化推進委員活動記録簿の記録についてご案内します。</p>
		<p>活動記録簿ですが、県農業会議から先月記入例について資料提供がありましたので、今後活動された際にこの記入例を参考にしてご記入してください。</p>
		<p>次に、5条申請の取り下げが出てきていますので報告します。</p>
		<p>前回2月3日開催の第2回農業委員会総会で許可相当として市に進達した土田字番田の農地ですが、内容は貸事務所の部分と一般個人住宅の駐車場ということで2件出ていました。これについて進達を受けた市は、書類不備と開発許可未申請のため許可を保留にしていました。今回取り下げということで書類の提出がありましたので、報告させていただきました。</p>
		<p>最後に、次期の農業委員、農地利用最適化推進委員の推薦についてお知らせします。これについてはこの1月から3月において、各地域の再生協議会の席で農事改良組合会長はじめ関係者に説明をいたしました。また、3月中旬にはJA等の関係者に状況の打診をする予定ですのでご承知おきください。</p>
		<p>次に、連絡事項について説明します。</p>
		<p>今後の予定です。</p>
		<p>現地確認は、3月4日締切分につきましては、3月27日金曜日を予定しております。</p>
		<p>令和2年第4回総会は、4月3日火曜日午後3時30分から5階全員協議会室で開催しますのでご参集ください。</p>
		<p>産業振興課からですが、人・農地プランの検討会を、この会議終了後に開催を予定しています。</p>

議

長

以上をもちまして、令和２年第３回可児市農業委員会総会を閉会します。ご苦労さまでした。